

組合長に嶋氏

小樽市漁協

【小樽】全役員10人が赤字拡大などの責任を取って総辞職した小樽市漁協(組合員166人)の理事会が5日、同漁協で開かれ、同漁協監事の嶋秀樹氏(54)を新組合長に決めた。専務には、ひやま漁協(檜山管内乙部町)元専務の新川正己氏(64)が就いた。同漁協は2012年

決算が2年連続で総額1億円の赤字になったことなどから、昨年3月の通常総会で決算議案が否決されるなど紛糾。同6月の臨時総会では13年の赤字が、総額4億7500万円に膨らむ見通しが明らかになった。

組合員から役員の資質を問う声が高まり、昨年末に役員全員が辞職。これを受けた役員選挙は、立候補者数が定数と同数となり、無投票当選となった。嶋組合長は「漁業者の意見に耳を傾けながら、経営改善に努めたい」と話している。